

さきちゃんだより

砂希



発行 2009. 5 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

No.44

◇平成5年、平成11年の濁沢の斜面崩壊を受けて、主に土石流を防ぐ目的のため、引き続き、濁沢第六砂防えん堤工事 及び濁沢第七砂防えん堤工事を実施します。

◇本沢の土砂整備率向上等のため、既設えん堤の機能補強工事（本沢第二砂防えん堤改築工事）を昨年度に引き続き実施します。



平成5年に発生した大崩壊
幅 約500m 長さ 約700m

濁沢第七砂防えん堤工事

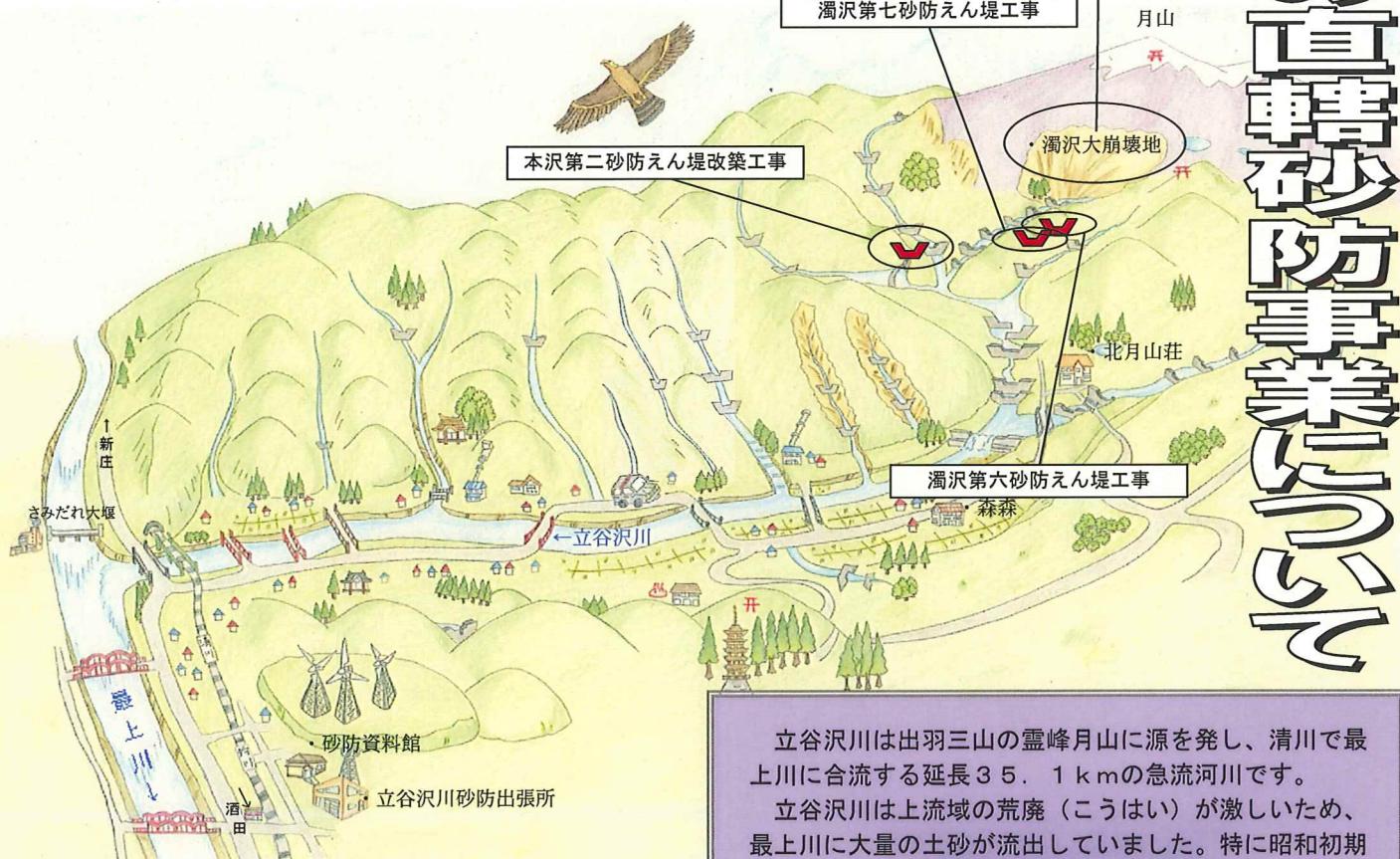
月山

・濁沢大崩壊地

濁沢第六砂防えん堤工事

北月山荘

森森



◇その他、立谷沢川河岸の浸食を防止するため、渓流保全工事を、また主に工事用道路の補修等を目的とした管内維持工事を実施します。

立谷沢川は出羽三山の靈峰月山に源を発し、清川で最上川に合流する延長35.1kmの急流河川です。

立谷沢川は上流域の荒廃（こうはい）が激しいため、最上川に大量の土砂が流出していました。特に昭和初期の土砂流出のすさまじさは、『これを放置したら酒田の港までが土砂で埋め尽くされる』とまで言われたほどでした。このため、昭和12年に国の直轄事業として砂防事業を行うことになりました。

立谷沢川流域には、これまでに砂防えん堤41基と渓流保全工11.5kmが完成していますが、平成5年6月には崩壊土砂量560万m³の大崩壊が発生するなど、流域内の土砂生産は今なお活発です。

◆砂防工事の実施により、今後工事関係車両の往来が多くなります、道路に出る際は十分ご注意願います。また、工事の実施にあたり、施工者による『立谷沢川流域工事安全対策協議会』を基に、発注者とも安全には万全を期して進めてまいりますが、工事に起因した影響など、何かお気づきの点などございましたら、当出張所までご連絡ください。

砂防広報活動紹介 植山公園桜まつり！

砂防PRコーナー
4月19日(日)

庄内を代表する桜の名所『植山公園桜まつり』が4月18日/19日に行われ、昨年に引き続き、当出張所も砂防PRコーナー（19日のみ）を設け、地域の祭りに参加させていただきました。

当日は手作りの狭いブースにも関わらず、たくさんの方々に見ていただきることができました。

中でも、土石流の実験模型は幅広い層から支持を受け、特に子供たちには大人気でした。砂防を知るきっかけになってもらえたのではないかと思っています。



～アンケートに寄せられた声～

- 魚や自然の生態系を壊さず、優しい砂防をつくって欲しい！
- 雨が降ったら自然はどうなるのか・・・小さな子供たちにも分かって良かったと思う。
- 子供たちの社会科のため良いと思う。
- 日本は災害の国、いつも防ぐようにと、國の方、地域の方へ思うばかり・・・是非、子供の時から土砂災害のことを知るべき！大切な事だと思います。

などなど・・・貴重なご意見ありがとうございました。

人事異動のお知らせ

〔平成21年4月1日付けで出張所長が異動になりました。
前出張所長より退任の挨拶を申し上げます。〕

【前 出張所長 高橋 秀】

地域の皆さんに、立谷沢川流域の砂防事業に「何を望んでいるのか？」考え・悩み・行動した3年間でした。地域行事に参加し、庄内町の皆さんに砂防事業や立谷沢川を知ってもらったり、地区会長や役場職員の方々と現地や出張所で話したり、見学会でご意見を頂いたり、色々と試行錯誤しながら自分なりに精一杯やったと思っています。

平成の名水百選に選ばれた立谷沢川が、いつまでも地域の人々に親しまれる「きれいで安全な川」でありますように祈っております。

引き続き、砂防事業にご理解とご協力を願い申し上げます。 大変お世話になりました。m(_ _)m

みんなで防ごう土砂災害！

土砂災害防止月間(6/1→6/30)

山や崖（がけ）が崩れて、水とまじり合った土や石が、私たちにおいかかってくるのが土砂災害です。

土砂災害は、家や田畠をのみこみ、人の命まで奪う恐ろしい災害です。

この土砂災害から人の命と財産を守るのが砂防の目的です。



土砂災害の主な前兆現象



※これからの梅雨・台風シーズンの入山時には充分な注意が必要です！！

土石流

- ◎山鳴りがする
- ◎急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- ◎雨が降り続いているのに川の水位が下がる

地すべり

- ◎沢や井戸の水が濁る
- ◎地面にひび割れができる
- ◎斜面から水が噴き出す

崖崩れ

- ◎崖に割れ目が見える
- ◎崖から水が湧き出ている
- ◎崖から小石がぱらぱらと落ちてくる

～砂防施設見学会について～

昨年度まで当出張所主催で行っておりました『砂防施設見学会』につきましては、当初の目的、その効果等について十分な成果を得られたため、平成20年度をもって終了いたしました。

楽しみにされていた方々もいらっしゃったことと存じますが、今後も広報活動を継続してまいりますので、引き続き砂防事業へのご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

問い合わせ先 《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

本誌をご覧いただいた感想や、砂防事業などへのご意見・ご質問等をお待ちしています♪

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

～砂防資料館～
開館日：※普段は閉館しております。
※ご利用の際は事前にご予約いただけますようお願いします。

駐車場 小型バス3台駐車可



ACCESS

